

SIヤーのパラダイムチェンジ

	視点	旧パラダイム(クラウド前)
1	工程的にどこに価値があると考えているか？	ビジネス要件からシステム要件に落とし込むことが重要と考える。(上流)
2	SEスキルといわれると？	ウォーターフォール的にシステムを作ることが前提なので、業務要件からシステム要求定義ノウハウが重要である。
3	方向性の間違いにいつ気づくか？	自分たちの仕事を、システムを企画して作成してテストするというV字モデルで考えている。全体的な方向性の間違いはV字の右上終盤でわかる。作り終わっておかしいことに気付くという感じである。

新パラダイム(クラウド後)

経営戦略に基づいた業務に優先度を付け、プロジェクト全体の方向性を間違わせないことが重要と考える。(超上流)

サービスを使うことが前提なので、クラウド(SaaS)のFIT&GAP分析ノウハウが重要である。

工程の各フェーズごとにPDCAを繰り返し修正していく。小さく繰り返すので方向性は各フェーズで検証されているので、最終局面での大きな方向性の間違いはない。